

兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現況（その2）

唐土 洋一

「兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現況（その1）」であらましを述べておいたが、その後の調査等でわかったことを追加報告しておきたい。

1. 採集記録等について

(1) 相生市矢野町三濃山	1 ♂ 1 ♀ (2 ♀♀確認)	1989年9月12日 1991年8月15日	山下剛史
(2) 赤穂市周世	1 ♀	1991年8月18日	
* (3) 相生市那波南本町（中央公園）	5 若令幼虫 1 ♂目撃 1 終令幼虫	1991年8月17日確認 1991年8月18日撮影 1991年8月31日確認	
* (4) 相生市山手町（墓地公園）	3 若令幼虫	1991年8月18日確認	
(5) 姫路市飾磨区妻鹿日田町	1 ♂目撃	1989年8月9日	9)
* (6) 姫路市飾磨区妻鹿	1 ♂	1991年8月25日	
(7) 相生市若狭野町東後明	1 終令幼虫	1989年9月4日 1989年9月26日	1 ♀羽化 9)
* (8) 揖保郡新宮町善定（松尾神社）	1 終令幼虫	1991年9月1日 1991年9月26日	1 ♀羽化
(9) 相生市矢野町小河	1 ♀	1982年7月29日	8) 入江智朗
(10) 宍粟郡波賀町小野	1 ♀	1983年9月18日	7) 勝屋 潤

* 印 新たに見つかった生息地

2. 新たに見つかった生息地の状況等について

① 中央公園（相生市那波南本町）

1991年8月17日、図書館への道すがら、なほななく公園に植栽されているマテバシイのひこばえに気をとられ、土用芽をみつけているのかと、アブラムシでもついでにアフリカシジロ（2令）で、ムラサキツバメの若令幼虫（2令）で、ムラサキツバメの若令幼虫（5頭）の若令幼虫が確認された。8月31日には近くの樹より終令幼虫1頭確認した。

② 墓地公園（相生市山手町）

ひょっとしたら他にもいるのではと思い、山手町にある墓地公園へと、さっそく飛んでいった。そして、そこでも若令幼虫を確認することが出来た。

③ 姫路市飾磨区妻鹿（浜手緑地内）

1989年8月9日、出光興産・兵庫製油所（姫路市飾磨区妻鹿日田町）構内で1♂を目撃したことを思いだし、至近距離にある妻鹿の浜手緑地内を調査してみたところ、予想通りに1♂が採集出来た。

④ 揖保郡新宮町善定

松尾神社境内のシリブカガシより終令幼虫1頭を確認。

3. 食樹マテバシイとシリブカガシの比較

1994年5月12日、相生市三濃山での観察

マテバシイ

若葉は、すでに広がり硬化しつつある。これでは、若令幼虫は育たない。新芽から若葉までの期間は20~30日位か——葉の硬化が早い。

シリブカガシ

新芽が出かけている。若葉は軟らかいので、飼育する場合こちらが有利。

① 芽吹き時期に、20日程のずれがあり、ムラサキツバメがいつ産卵するのかは確認されていない。8~9月（土用芽）における観察では、この芽吹き時期に産卵している。

② マテバシイ喰はマテバシイの芽吹き時期に、シリブカガシ喰はシリブカガシの芽吹き時期に合わせて、それぞれの環境に適應させて産卵し、世代を繰返しているのかもしれない。マテバシイ喰の場合、発生回数も1~2回といった数少ないもので、成虫生存期間も結構長いものとするれば、産卵に適した樹木を求めて、かなりの範囲を放浪する習癖があるのではなかろうか。

③ 同じく、越冬した蝶であるクロコノマチョウの場合、1ヶ月位はガラガラと産卵していると思われる。成虫越冬の蝶には、「特有のたくましい性質」がそなわっているのかもしれない。

4. 補足

①相生市の中央公園・墓地公園では、マテバシイを食していた。これらは、偶然にも、雌蝶が飛来して産卵していったものと推測できる。マテバシイは公園・墓地・街路等に植栽されており、条件さえよければ偶発することがあるものと思われるので、注意して観察してみると、案外発見出来るかもしれない。

②姫路市飾磨区妻鹿（浜手緑地内）でも、マテバシイが多数植栽されているので、恐らく、ここではマテバシイを食して生息しているものと推測する。

③揖保郡新宮町善定

ここでは、シリブカガシを食している。この蝶にとっては、シリブカガシが主要な食樹であり、恐らく、この樹があれば、本種が生息していると思っ
て差支えないのではなかろうか。

5. 問題点

成虫がどこで越冬し、越冬後、いつ産卵し、第1化が発生しているのかと
いったことが今後の課題である。

<参考文献>

- 1)山本広一・吉阪道雄(1965)兵庫県産蝶類目録(4)
兵庫生物 5(1):52-55
- 2)山本広一(1966)兵庫県下で採集されたムラサキツバメ
蝶と蛾 X VI(3/4):106
- 3)米村和繁(1966)相生市におけるムラサキツバメの採集例
昆虫と自然 1(8):12
- 4)岩村 巖(1968)西播の蝶分布資料(5) 赤相の蝶類
兵庫生物 5(5):392
- 5)川崎悟良(1979)相生市の蝶
ひろおび (4):24
- 6)唐土洋一(1981)西播におけるムラサキツバメの新産地
てんとうむし (7):19
- 7)勝屋 潤(1985)宍粟郡波賀町のムラサキツバメの記録
きべりはむし 13(1):13-16
- 8)広畑正己(1987)兵庫県産蝶類分布資料(4)
てんとうむし (10):17
- 9)唐土洋一(1994)兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現況(その1)
姫昆サロンニュース 100号記念 特別号「遊蟲千年」
- 10)竹東 正(1979)四国の蝶、日本鱗翅学会四国支部、高知
- 11)加藤昌宏・武衛晴雄(1981)神戸の蝶、神戸市立教育研究所、神戸

〒678 相生市青葉台6-29
1994.6.13 記